

輸血業務に関する総合的アンケート調査(平成16～20年度) 輸血前後の感染症検査関係の結果集計

設問分野	設問番号					平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度(全施設)		平成20年度(前年と同一施設に限定)	
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%

輸血後検査陽性症例の詳細調査【HCV】

HCV詳細	設問		選択枝		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度(全施設)		平成20年度(前年と同一施設に限定)		
	16年度	20年度	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	
HCV詳細	<input type="radio"/> 2-16 <input type="radio"/> 2-56	(質問B)直近1年間(1月～12月)に輸血後感染症検査でHCVコア抗原又はHCV抗体又はHCV-RNAが陽性であった症例はありますか	1	ある							29	8.2	51	5.2	32	6.0	
			2	ない								210	59.3	633	64.8	368	68.7
			3	把握していない									115	32.5	292	29.9	136
											354		976		536		
HCV詳細	<input type="radio"/> 2-16 <input type="radio"/> 2-56	(質問B)で「1.ある」の場合、症例数		実数記入							133例		212例		187例		
HCV詳細	<input type="radio"/> 2-17 <input type="radio"/> 2-57	(質問B)で「1.ある」の場合、輸血前からHCV感染者であった症例はありますか	1	ある							19	65.5	38	77.5	27	87.1	
			2	ない							10	34.5	11	22.4	4	12.9	
											29		49		31		
HCV詳細	<input type="radio"/> 2-17 <input type="radio"/> 2-57	直前の質問で「1.ある」の場合、症例数		実数記入							114例		195例		178例		
HCV詳細	<input type="radio"/> 2-18 <input type="radio"/> 2-58	(質問B)で「1.ある」の場合、輸血によるHCV感染症伝播が証明された症例はありますか	1	ある							1	3.5	0	0.0	0	0	
			2	ない							28	96.6	46	##	31	100	
											29						
HCV詳細	<input type="radio"/> 2-18 <input type="radio"/> 2-58	直前の質問で「1.ある」の場合、症例数		実数記入							1例		0例		0例		

輸血業務に関する総合的アンケート調査(平成16～20年度) 輸血前後の感染症検査関係の結果集計

設問分野	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	設問番号		設問	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度(全施設)		平成20年度(前年と同一施設に限定)			
						回答数	%		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%				
HCV詳細								(質問B)で「1. ある」の場合、上記に該当しない症例(既感染、輸血による感染でない症例)について、該当しなかった理由をお答え下さい(複数回答)														
									1							1	12.5					
									2							0	0.0					
									3							0	0.0					
									4							0	0.0					
									5							0	0.0					
									6							3	37.5					
								7							4	50.0						

HCV詳細								(質問B)で「1. ある」の場合、上記に該当しない症例(既感染、輸血による感染でない症例)はありますか														
								1										7	16.2		5	17.9
								2										36	83.7		23	82.1
																		43			28	

HCV詳細								直前の質問で「1. ある」の場合、症例数														
								1														
								2														

10例

6例

HCV詳細								輸血後感染症検査でHCVコア抗原、HCV抗体、HCV-RNA陽性症例に関する症例調査にご協力いただけましたか														
								1													60	68.2
								2													28	31.8

88

輸血業務に関する総合的アンケート調査(平成16～20年度) 輸血前後の感染症検査関係の結果集計

設問分野	設問番号					設問	選択枝	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度(全施設)		平成20年度(前年と同一施設に限定)	
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度			回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%

輸血後検査陽性症例の詳細調査【HIV】

HIV詳細	設問	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(全施設)	平成20年度(前年と同一施設に限定)
(質問C) 直近1年間(1月～12月)に輸血後感染症検査でHIV抗体又はHIV-RNAが陽性であった症例はありますか	1 ある 2 ない 3 把握していない				1 235 116	3 66.8 33.0	3 0.3 0.6
					352		974
							536

HIV詳細	設問	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(全施設)	平成20年度(前年と同一施設に限定)
(質問C)で「1. ある」の場合、症例数	実数記入				2例	3例	3例

HIV詳細	設問	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(全施設)	平成20年度(前年と同一施設に限定)
(質問C)で「1. ある」の場合、輸血前からHIV感染者であった症例はありますか	1 ある 2 ない				1 0	### 0.0	1 50.0 50.0
					1		2

HIV詳細	設問	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(全施設)	平成20年度(前年と同一施設に限定)
直前の質問で「1. ある」の場合、症例数	実数記入				2例	1例	1例

HIV詳細	設問	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(全施設)	平成20年度(前年と同一施設に限定)
(質問C)で「1. ある」の場合、輸血によるHIV感染症伝播が証明された症例はありますか	1 ある 2 ない				0 1	0.0 ###	0 ### 100
					1		2

HIV詳細	設問	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(全施設)	平成20年度(前年と同一施設に限定)
直前の質問で「1. ある」場合、症例数	実数記入				0例	0例	0例

輸血業務に関する総合的アンケート調査(平成16～20年度) 輸血前後の感染症検査関係の結果集計

設問分野	設問番号				選択枝	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度(全施設)		平成20年度(前年と同一施設に限定)		
	16年度	17年度	18年度	19年度		20年度	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
ヘモビジランス	設問				日本でのヘモビジランスについてどう考えますか													
	1					必要な体制であり、是非参加したい							52	16.2	61	6.8		
	2					必要な体制であり、参加を検討したい							179	55.6	413	46.0		
	3					必要な体制だが、参加は困難である							76	23.6	380	42.3		
	4					必要性を感じないが参加を検討したい							5	1.6	6	0.6		
	5					必要性を感じないため参加は困難である							3	0.9	13	1.4		
6				その他							7	2.2	24	2.6				
																	897	
																		322

輸血前感染症検査への取り組み：その他の記載事項 H19年度調査 別表-1-1

番号	事項
1	PCR用輸血前検体保存
2	オーダーリングに、輸血前検体保存のためのセットを組んでいる
3	オーダーリングではないが、検査依頼書に必要な検査項目をセットで組んでいる
4	システムにて、本年1月下旬より運用を開始する予定である。
5	医師の依頼がない時は、輸血部門で輸血されたことを確認後に輸血前感染症検査項目のオーダーをたてて、残検体で測定することを感染対策委員会より取り決めとした。
6	感染症検査の実施が徹底していないので、輸血前検体の保存のみを行っている。
7	血液型検査または不規則抗体検査オーダーがあった患者については、輸血の有無に関わらず輸血前検体として保管し、遡及調査に備えている。
8	血液製剤依頼時に、輸血前検体採取をお願いしている。（カルテ上でメッセージが出力される仕組み）
9	検体保存の同意を得て、輸血後感染症の検査が陽性の時に行う
10	現在、輸血療法委員会において実施方法を検討中。
11	現在輸血委員会とI委員会、輸血前後の感染症検査をセット化し、オーダーリングシステムに組み入れる作業中です。
12	今のところ輸血前検体保存のみ行なっている。
13	今後、実施していくよう輸血療法委員会で話しあっている
14	今後の導入検討を行っている。
15	子ども病院のため、採血量も問題となりなかなか出してもらえない。電子カルテには整備してある。
16	指針、ガイドライン等に準拠した検査オーダー体制を現在構築中。
17	実施していないが、輸血前の凍結による検体保存に向けて準備中である。
18	主治医の指示で検査が行われている
19	術前検査で実施している。
20	準備中
21	初回輸血時に感染症用の検体を輸血検査室に提出するシステムを構築、検査室で検査状況把握を行っている。輸血実施翌日、輸血前検体で未検査項目のみ検査を実施。
22	診療部会で各医師に通達している。
23	説明文は作成してあるが、医師がどれくらい実施しているか把握できていない。
24	専用採血管で輸血前検体を保存する。
25	全ての輸血前検体を保存し、3ヶ月後フォローで陽性となった場合に輸血前検査をする。
26	全輸血患者の輸血前検体を無菌的に凍結保存している。
27	伝票により必要な検査項目をセットで組んでいる
28	当面の間、検体保存を行う方針だが、実施に向けて感染症検査の院内実施を開始するなど、準備中である。
29	同意書に署名したら前検査を自動的に実施するように委員会で取り組み中
30	入院患者全員（輸血される方も含め）感染症検査を行っている
31	入院時セットに検査項目をセットで組んでいる。
32	入院時に感染症の検査を行っている。
33	入院時検査でセットを組んでいる。ただし、HIVは別依頼である。
34	必要な検査項目を含めて院内実施に向けて検討中
35	平成19年11月委員会発足後、検査実施に向けて取り組んでいる。
36	輸血オーダー時に保管検体用採血ラベルが自動出力されるようにシステム改修中
37	輸血される患者様には同意書にて輸血前後感染症検査の希望をとってもらい希望に応じて検査技師が輸血後に検査オーダーしている。検体は輸血前に保存。
38	輸血の依頼がでると、自動的に検査科で輸血前検査の依頼をたてて行う
39	輸血をした場合必ず検査部からオーダーをだし検査する
40	輸血学会の運用マニュアルがでたので、今後それに沿った形で委員会で検討予定
41	輸血感染症検査の実施に取り組んでいるが、同時に査定もされるので、社会保険事務所に対する働きかけを医事部門とともに行っている
42	輸血後フォローアップ患者リストを各診療科に配布し、その中に輸血前検査を行っているか、いないかを明記している。
43	輸血後感染症検査で陽性となった場合に輸血前感染症検査を実施するために検体をストックしている
44	輸血指示があった際に、入院時・手術前検査にて実施していない感染症項目だけ検査部にて追加実施する。
45	輸血時に輸血部門にオーダー入力している。
46	輸血実施から約3ヵ月後に「輸血前後の感染症検査のお知らせ」を主治医に配布している。
47	輸血実施患者は、検査部にて代行依頼する。

番号	事項
48	輸血前は保存検体の提出を主に実施し、輸血療法委員会、医長会議などで周知徹底している。
49	輸血前感染症検査の実施を推奨している
50	輸血前血液検体を永久保存して、問題時に検査を行う
51	輸血前検査の結果を血液製剤使用の記録とともに20年間保存することになっている。
52	輸血前検体の保存を行い、輸血後検査で問題のあるものに関して、さかのぼって検査できる体制をとっている。
53	輸血前検体を2年間保存している
54	輸血前検体を保管しているので何かあった場合は遡及調査できるため
55	輸血前検体保管
56	輸血前検体保存を全例におこなっている。
57	輸血前後感染症用の依頼用紙を作成している。
58	輸血担当者が輸血を行った患者様に対して検査を実施している
59	輸血部でチェックをし輸血前検体を100%保存している
60	輸血用検体保存を必ず行っている
61	輸血療法委員会、医長会議などで輸血前感染症検査の実施を促した
62	輸血療法委員会で輸血前感染症検査は保存し必要時検査することを決定。輸血前感染症検査用検体の必要性を周知徹底している。
63	輸血療法委員会や説明文で実施を促している。

輸血前感染症検査への取り組み：その他の記載事項 H20年度調査 別表-2-2

番号	事項
1	(1)をしているが、徹底までには到っていない
2	電子カルテ上で輸血依頼と同時に検査依頼が出来るようにしている。
3	同意書内に検査を行うことを記載し協力を求めている。
4	入院前検査として実施するとともに、輸血前検体を保存しています。
5	未実施の場合は輸血部門で代行入力後、医師が承認している
6	輸血を実施した患者は、すべて交差適合試験用検体で実施する。
7	輸血実施を確認した時点で検査科でオーダー入力して実施するようマニュアル化されている。
8	輸血実施後、検査科にて不足項目を追加する
9	輸血実施後、検査室にて輸血前検体を用いて未検査項目を依頼し、検査を実施している。
10	輸血前感染症用検体を採血保存し輸血実施時に輸血前感染症検査を実施している。
11	輸血担当者が検査状況をチェックし担当医の指示のもと検査の追加をおこなう
12	輸血用血液製剤を出庫時に輸血前後感染症検査指示書を付けて出庫を行い、同意を得られた場合に検査を実施
13	輸血療法委員会、診療会議で検査実施を周知徹底するとともに、必要な検査項目をセット化している。

別表-2-1

輸血前検査の実施率(%) 平成19年度

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

2	30.6	60.5	86	98	100	100
2.2	33.3	63.1	86	98.6	100	100
5	42	65.4	91	99.1	100	100
5.3	43.5	70.3	92.3	99.8	100	100
5.5	45	70.4	92.9	99.9	100	100
7.8	50.3	77.3	93.7	100	100	
10.1	50.5	78.4	94.3	100	100	
12.2	54.5	80	95	100	100	
26.6	58.4	82.4	95.7	100	100	
27.6	58.5	84.9	96	100	100	

厚生労働省の推奨項目のいくつかを含む輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

0.9	65.6	90	97	99.9	100	100
2	66.7	90.7	98	100	100	100
22.7	74.3	92.5	98	100	100	100
26.8	78.2	93.5	98.6	100	100	100
37	80	94.3	99	100	100	100
39.9	80	95	99	100	100	100
50	81	95	99	100	100	100
54.1	83.9	95.5	99	100	100	100
60	85.7	95.7	99	100	100	
63.1	88.9	95.7	99.5	100	100	

別表-2-2

輸血前検査の実施率(%) 平成20年度 (全施設)

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

0	0	0	42.8	86.6	100	100
0	0	0	43.8	88.6	100	100
0	0	0	48.6	89	100	100
0	0	1	51.9	90.1	100	100
0	0	1.9	54.4	90.5	100	100
0	0	5	65.1	90.8	100	100
0	0	5	74.5	92.3	100	100
0	0	5.3	78.5	93.8	100	100
0	0	7.1	80	95	100	100
0	0	7.5	82	95.7	100	100
0	0	18.5	82.1	97	100	100
0	0	23.9	83	97.9	100	100
0	0	25.7	83.8	98	100	
0	0	39.8	85	99	100	

厚生労働省の推奨項目のいくつかを含む輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

1.4	80	96.9	100	100	100	100
5	85	97	100	100	100	100
8.1	86.1	97.7	100	100	100	100
31.5	86.3	97.8	100	100	100	100
51.9	86.6	98.8	100	100	100	100
55.8	89	98.8	100	100	100	100
68.2	89	99	100	100	100	100
70	89.5	99	100	100	100	100
70.2	90.8	99.5	100	100	100	100
70.7	92.3	99.9	100	100	100	100
71.7	93.6	100	100	100	100	
74.5	93.8	100	100	100	100	
75.6	95	100	100	100	100	
78.2	95	100	100	100	100	
78.5	95	100	100	100	100	
80	95	100	100	100	100	

別表-2-3

輸血前検査の実施率(%) 平成20年度(平成19年度と同じ施設)

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

0	0	5.3	65.1	89	100	100
0	0	7.1	74.5	90.5	100	100
0	0	7.5	78.5	93.8	100	100
0	0	25.7	82	95	100	100
0	0	42.8	82.1	95.7	100	100
0	0	43.8	83.8	97	100	
0	1	48.6	85	97.9	100	
0	1.9	51.9	86.6	98	100	
0	5	54.4	88.6	100	100	

厚生労働省の推奨項目のいくつかを含む輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

1.4	78.2	93.8	99.9	100	100	100
5	78.5	95	100	100	100	100
31.5	85	95	100	100	100	100
51.9	86.1	97	100	100	100	100
55.8	86.6	97.7	100	100	100	100
70	89	97.8	100	100	100	100
70.2	89	98.8	100	100	100	100
71.7	89.5	99	100	100	100	100
74.5	93.6	99.5	100	100	100	

別表-3-2

凍結保存期間(月) 平成20年度 (全施設)

1	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	36	72	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	36	72	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	36	72	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	36	72	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	36	72	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	40	78	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	96	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	99	永久
5	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	120	永久
6	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	120	永久
6	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	120	永久
6	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	240	永久
6	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	240	永久
6	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	240	永久
6	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	480	永久
6	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	12	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	13	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	14	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
7	20	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
7	20	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
7	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
8	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
10	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
10	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
10	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	69	永久	

冷蔵保存期間(月) 平成20年度 (全施設)

0.2	0.5	1	1	2	2	3	3	4	6	12	12	24	永久
0.5	1	1	2	2	3	3	3	6	12	12	24	60	

凍結保存期間(月) 平成20年度 (平成19年度と同一施設)

1	12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	96	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	99	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	120	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	240	永久
3	12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	480	永久
6	13	24	24	24	24	24	24	24	24	28	36	永久	永久
6	14	24	24	24	24	24	24	24	24	30	36	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	30	36	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	30	40	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	32	48	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	18	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	20	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
6	20	24	24	24	24	24	24	24	24	36	48	永久	永久
7	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
7	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
7	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
8	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
10	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
10	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	永久
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	60	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	69	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	72	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	72	永久	
12	24	24	24	24	24	24	24	24	24	36	72	永久	

冷蔵保存期間(月) 平成20年度 (平成19年度と同一施設)

2	3	3	3	3	4	6	12	12					
---	---	---	---	---	---	---	----	----	--	--	--	--	--

輸血後感染症検査への取り組み：その他の記載事項 平成19年度 別表-4-1

番号	事項
1	(1) を実施しているが、効果的とはいえないのが現状である。
2	(2) → (3) → (6) → 輸血後 (3ヶ月後) に、患者が来院しない時は、主治医が連絡する。この流れでの対応マニュアルを作成中である。
3	(3) の対応を準備中
4	(3) の内容で4月より実施予定 (準備中)
5	1号用紙に「輸血月日3~6ヶ月後に感染症検査」と印刷して輸血月日を使用時に記入してもらう
6	カルテ表紙に輸血実施日を記入したシールを貼付し、医師に注意を促す
7	クロスオーダーすると、自動的に輸血前保管検体も採取される。
8	依頼項目、輸血日を記入した検査依頼書を、外来 (入院) カルテにコメントを記入して挟み込み、主治医の検査依頼を促す。
9	外来カルテに採血月をチェックする計画表を作り、受診時にNs. が確認しその月に採血を行う。
10	検査に適切な時期がきたらカルテに付箋を貼付して検査実施を促す。
11	検討中
12	現在 輸血後感染症に対応した同意書及びマニュアルの準備中
13	現在、輸血療法委員会において実施方法を検討中。
14	現在準備中
15	実施していないが、(1) の準備中である。
16	主治医に連絡とともにカルテに記載
17	準備中
18	上記 (9) の機能を追加するようシステム改修中
19	退院時、外来予約をとる。来院時、輸血後採血の日程を予約する。(検査科では、カルテ表紙に医師宛に輸血後感染症検査の案内をはる。)
20	適切な時期がきたら輸血部長の指示で検査し、主治医にその旨を連絡している。
21	電子カルテ上に輸血時付箋メモをつける
22	同意書の更新に伴い内容に加えると共に口頭で説明する。退院時に書面を渡す。
23	特に取り組んでいない、輸血後感染症の検査もしていない。血液センターより感染症の陽性がわかった場合、連絡を取り検査をする。
24	年2回必ずHBs Ag HCV Abの検査を行っている。
25	輸血3ヶ月後の検体保存用の採血を行うのに適切な時期がきたらオーダーリング画面上にお知らせを出している。
26	輸血が施行された患者の主治医に検査を受検するように記載された書面をわたす
27	輸血した製剤に対する遡及調査で何らかのウイルス陽性の報告を受けた場合、通知する。
28	輸血の同意書所得時に、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡すよう、作成中である。
29	輸血後の患者に対し、主治医あてに検査依頼をしてもらうようメールを送信している
30	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡し、採血日の予約をする。
31	輸血後感染検査実施時期がきた患者について、医事課で紙カルテに検査実施通知用紙を挿入し、輸血部門技師が電子カルテの患者掲示板に検査実施通知を掲載する。
32	輸血後感染症検査のオーダーリングについてのロジックを構築中
33	輸血後感染症検査の時期が来たら検査室で文章を作成し患者カルテにはさみ、それを見た主治医がオーダーをする。
34	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら検査オーダー画面にアラートがでる。
35	輸血後感染症検査を行う時期を記載した青い指示票を発行し、カルテの表紙に添付。それを見て医師が依頼する。
36	輸血後感染症検査を行う時期を電子カルテの伝言板に記入する。
37	輸血同意書取得時に輸血後感染症検査を受検できる旨を書面で説明するが、実施の判断は医師に委ねている。
38	輸血療法委員会、医局会にて検討中。

輸血後感染症検査への取り組み：その他の記載事項 平成20年度 別表-4-2

	回答
1	3か月に一度、輸血した患者の掲示板に主治医あてに書き込む。
2	3ヶ月後に外来で実施するように検査予約する。
3	3ヶ月後に患者に電話する
4	カルテに検査伝票をはさんで置き、適切な時期に主治医の指示がでる
5	カルテに付箋をつける
6	カルテに輸血後感染症検査が必要であることを記載した用紙を挟んでおく
7	カルテに輸血後検査表を入れる
8	カルテの表紙に検査実施時期を知らせるラベルを挿入している
9	医師が感染を疑った場合に検査できるように、セット項目化しているが、依頼はほとんどない
10	外来にて通院中の患者の場合、主治医に報告して受検を促してもらっている。
11	患者が主治医に輸血時期を聞き同意書に検査予定日を記入させている
12	患者さんには同意書が輸血後検査の予約票となり、その控え票から検査課が3ヵ月後のオーダー入力を行っている。
13	血液製剤受け渡しの際、検査時期を記載した文書を診療科へ提出する
14	専用のセット検査項目を作り、患者負担無料として検査を勧めている。
15	退院時に、外来予約をとり、次に来院する日を決める。来院時、輸血後採血の日程を予約する。(カルテ表紙に、医師宛の案内を張る。)
16	担当技師が検査依頼入力を行っている
17	適切な時期がきたら、お知らせ文書を作製し患者カルテにはさむ
18	適切な時期がきたら、電子カルテにお知らせする
19	適切な時期がきたら対象患者のリストを作成し、医事課が患者に連絡をとり、検査日を決める
20	適切な時期が来たら、電子カルテに文書を付箋添付する
21	適切な時期の月初めに患者様家に検診月であることを連絡している
22	適切な時期を記載した通知をカルテに添付し、外来受診時にそれを参考にして医師が検査を依頼する
23	適切な時期を電子カルテのコメント欄に入力し、来院時に受付でチェックできるようにしている。
24	適当な時期がきたら、検査部にて代行入力する。
25	電子カルテの付箋機能を用いて輸血実施患者カルテに輸血後感染症検査実施時期を知らせる
26	電子カルテ上の掲示板に輸血後検査の依頼を輸血後2～3か月の1か月ほど表示している。
27	同意書のある輸血後患者の適切な時期に、医師から依頼された検査技師が、次回オーダーをかけておく
28	毎月検査対象者をリストにし、その患者の検体が他検査などで検査室にきたら自動的に輸血後感染症検査も追加して行なう。
29	未検査の場合に検査を促す文書を主治医に配布する。
30	輸血3ヶ月後に電子カルテにてメール送信および指示棒にて検査依頼を促すように自動設定・輸血3ヶ月後に診療科にリストを送付
31	輸血依頼伝票の各化控(カルテ用)に記載し、外来カルテ表紙に表示、。
32	輸血患者全ての検査実施状況をチェックできない場合は電子カルテに貼付している。
33	輸血後、検査を行う適切な時期を明記した用紙をカルテに綴り、検査後は回収され、実施されたかをチェック。
34	輸血後1ヶ月以降に、電子カルテのメモ欄に、医師あて輸血後感染症検査の実施依頼文書を掲載する
35	輸血後の患者に対し、カルテパネルに掲示棒をさしこむ。
36	輸血後の患者に対し、検査技師が輸血後感染症検査を受検するよう口頭で説明して書面(同意書付き)を渡す。
37	輸血後感染症を行うのに適切な時期がきたら、輸血の依頼があった部署へ検査室から電話連絡をする。
38	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、カルテに依頼伝票を挿入している。
39	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、各師長にリストを提出している。
40	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、電子カルテ上にコメントを入れる
41	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら輸血委員会から患者カルテに書面を貼付する
42	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期が来たら、オーダー画面に付箋を貼付する
43	輸血後感染症検査を行う時期が来る前にカルテに依頼伝票を差し込んでおいて外来受診日に合わせて採血する。また外来には前以てそのむねを連絡しておく
44	輸血後感染症実施月に通院していない患者には電話連絡、通院している患者はカルテに依頼書を挟み込む。

45	輸血施行確認時に輸血後感染症検査を受検する旨を記載された書類を渡す。その用紙は切り離しが出来るようになっており、1枚は患者様用、1枚はカルテ貼付用となっている。医療従事者からも患者様へ検査を受けるように伝える取り組みを行っている。
46	輸血実施後に、3ヶ月先の予定で輸血後感染症の検査依頼をたてておく。
47	輸血実施後感染症検査伝票を作成しカルテに保存し3ヶ月後に検査する。
48	輸血手帳を作成し、患者に渡している
49	輸血製剤の出庫伝票に患者に輸血後感染症検査を催促する文書を添付し、主治医から渡してもらっている。
50	輸血同意書に「輸血後検査を行うこと」と、「HIV検査への同意書」を併載している。
51	輸血療法委員会にあたる委員会が開催機能していないので各主治医の判断に任されている。

輸血後検査の実施率(%) 平成19年度

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

14.2	72.7	32	17.1	2	84	50	56.4
50	18	1.8	41	38	66.6	21	
26	50	8	20	3.1	22.7	10	
7	7.8	31.6	14	25	11	43	
21	1	18.2	76.7	45.6	37.1	5.3	
100	5.1	75	56	6.5	20.1	98	
33.6	80	11	5	55	16	6	
35	52.2	78.9	60	1.2	50.2	45	
10	73	36.6	5.2	55.9	5.9	11.3	
27	21.2	4	0.4	41.4	20.9	50.4	

厚生労働省の推奨項目のいくつかを含む輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

14.2	8	15	0.5				
26.2	29.8	19.5	13				
21	60	25	6				
40	7.6	55	26.9				
27	14.6	1.2					
24	14	55.7					
18	16	11					
50	16.8	20.1					
1	2	5					
52.2	76	1.8					

輸血後検査の実施率(%) 平成20年度 (全施設)

別表-5-2

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

0	0	3.2	14.4	24.8	33.9	55	85
0	0	4.7	15.3	25.3	34.6	58.1	85
0	0	5	16	26.6	35.9	61.3	88
0	0	5.3	16.2	26.8	36.3	63.9	90
0	0	7	16.8	27.2	37	64	99.7
0	0	7.6	17	29	37.8	67	100
0	0	8.7	18.4	29.3	39.3	67.9	
0	0	9.1	18.5	30	42.4	69.8	
0	0	9.8	20	30	45	70	
0	0	10	20	30.5	48.3	79.5	
0	0	10.1	21	31.5	50	80	
0	1	12.6	22.9	32.8	53.2	82	
0	2.1	14.4	23	33.1	53.7	84	

厚生労働省の推奨項目のいくつかを含む輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

0	10.5	20	30	36.5	46	64	88
0	12.7	21.2	30	36.9	46.4	65	88
0.7	13	22.9	30.5	37.6	48.3	67	90
1	13.3	23	30.6	38.6	50	67.9	99.7
5	13.5	24.2	32.2	39	51.2	70	100
5.2	15.5	24.8	32.8	42	52.4	70.5	100
7.5	16	26.8	33	42.4	53.2	75.8	100
7.6	18.5	27.2	33.9	44.4	53.5	80	
9.1	18.7	28.4	34.6	44.5	55.6	81.9	
10	19.2	29	34.8	45	58.1	84	
10	20	29.3	35.9	45.2	61.2	85	

輸血後検査の実施率(%) 平成20年度 (平成19年度と同一施設)

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

0	0	5	16.2	26.8	34.6	55	85
0	0	5.3	16.8	27.2	35.9	58.1	85
0	0	7.6	18.4	29	36.3	61.3	88
0	0	8.7	20	30	37	63.9	99.7
0	0	9.1	21	30	37.8	67	100
0	1	9.8	23	30.5	39.3	70	
0	2.1	14.4	24.8	31.5	45	79.5	
0	3.2	15.3	25.3	33.9	48.3	84	

厚生労働省の推奨項目のいくつかを含む輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

0	9.1	18.7	29	34.8	44.5	58.1	81.9
0.7	10.5	20	30	35.9	45	61.2	84
1	12.7	21.2	30	36.5	45.2	65	88
5	13	23	30.5	36.9	46.4	67	88
5.2	13.3	24.8	32.2	39	48.3	70	99.7
7.5	13.5	26.8	33.9	42	52.4	70.5	100
7.6	15.5	27.2	34.6	44.4	55.6	75.8	100

輸血前後の感染症検査についての意見（平成19年度） 別表-6

番号	事項
1	・患者さんの協力をお願いする・保険請求が出来るように
2	1.手術症例でも保険で認められないのは極めて理不尽2.アルブミン投与又はグロブリン投与のみで前後検査は理解し難い。
3	3ヶ月に1回程度は検査をオーダーしてもらおうよう伝えていますが、なかなか浸透しません。保険請求は把握していません。
4	DPC導入により、当県では保険請求が包括されてしまうので、改正してほしい。また、検査実施率を上げるには法的な縛りが必要となる。
5	Drへの啓蒙なしには実現しない。輸血と感染症が別の部門で検査されているので、把握は困難。
6	HIV検査の承諾に問題あり
7	HIV検査は患者同意のうえで検査するといった手間を要するため、今後検討していただければと思う。
8	ガイドラインで示されているのに、保険が通らない場合があるのはおかしい。保険の問題がクリアできれば、マニュアル化しやすい。
9	ガイドラインにあてはまるものは、保険で認められるべき
10	コストが合わない。説明はするが、検査は全例でなく患者と医師に任せてよいと思う。
11	これから取り組んで行こうと思ってます、項目全部は検査出来ないの、一部検査残りは検体保管という形になってしまいますが。
12	システム等 当院の都合上前検査は難しいので検体保管で代用しています。後検査は検討中ですが確立する方法が見つかっていません。
13	なし
14	ほとんどの項目を外注しなければならぬので、すべての症例に対し全ての推奨項目を行うのは困難。
15	マニュアルを作成し、輸血前後感染症対策を行っても診療報酬が査定されてしまっているため、院内・主治医に積極的な働きかけができない。
16	医師が必要と認める場合に実施し必ずしも全例に行う必要がないと言うQ&Aが出されているので検査を強制できない。
17	医師の認識が薄い。院内検査として全て行える施設は限りがあるので、厚生省推奨項目を全て満たすには運用面や費用の面で無理がある。
18	医師は、必須検査か？推奨検査なのかと聞かれます。必須でないなら高くなるし・・・との事。HIV検査は医療スタッフは求めても、全ての医師が依頼しません。
19	院内実施項目と外部委託項目とがあり採血量が増える。入院時に実施済み項目との重複オーダー等の可能性がある。
20	各施設で検体保存し感染疑い検体は血液センターで検査する（検出感度に施設間差があるため）
21	確率の問題から検査自体の必要性はあるか？実施に至るまで非常に煩雑かつ思うように伸びない。実施状況把握するのも非常に手間がかかる。
22	患者年齢を考慮すると、すべての症例に必要なかどうか疑問がある。
23	患者様のための検査であります「査定」されると、医師からは無意味なものなら、出さない、と言われます。査定されないようにしてほしいですネ
24	感染リスクとコストを考えれば、当面、輸血前検体保管で対応が妥当と考えます。
25	感染確認時はシーケンスまで必要になるので輸血前については検査を省略し倦怠保存のみでよいと思います。
26	供血者ではないのだから、通常のスクリーニング検査(HBsAg, HCVAb, HIVAb)で十分ではありませんか。
27	教育機関として無料で検査できる病院と有料でわざわざ検査に来てもらわなければいけない病院では取り組み方が違ってくると思います。
28	継続的に輸血する患者さまの場合の輸血前後検査の頻度について、詳しいガイドラインがあるとよい。
29	継続輸血の際の前または後の選択に迷う
30	結果的に輸血未実施だった場合保険請求が認められない。検査項目すべてを保険請求可としてほしい。
31	血液センターの製剤はウイルスが混入していないことの証明の様に思えて成りません
32	血液疾患など連続輸血時の検査のタイミングがわかりにくい。
33	血液内科などで、月に2～3回など頻回に輸血する患者の感染症検査については、どの時点で輸血後を検査するのか、輸血委員会で検討中。
34	検体保管を確実にしておき、輸血後感染症検査で陽性になった場合のみ、輸血前の検体で検査実施する、という方法でも十分ではないか？
35	検討中
36	県によって違いがあるので統一して欲しい検査実施について曖昧な点が多い
37	現行の厚生労働省の指針は、病院現場の実情に即していない。
38	現在、輸血療法委員会において実施方法を検討中。
39	現状は、輸血実施施設と輸血後感染症検査施設が必ずしも同一施設とは限らない。輸血後感染症検査は本人の意思に委ねられるところがあるため、輸血実施患者へのフォローを国で統一した基準を作るべき。（輸血後感染症検査の対象期間や追跡検査をどこまでするかなど）
40	厚生労働省と日赤が責任の範囲を限定する為に始めた検査であり、保険請求が出来るよう厚生労働省は責任を持って対応すべき。検査項目を自施設で可能なレベルに見直して欲しい。保険請求の保障をして頂きたい。
41	厚生労働省に働きかけ（新聞・メディアなど）利用し、一般人への周知
42	厚生労働省のマニュアルにある輸血前後の検査を薦める基準は曖昧である。また保険点数表に明記すべきである。
43	厚生労働省の推奨項目、HBV-DNA核酸増幅検査、HCVコア抗原、HIV抗体は必ず必要となるのか、現場は、高齢（80-90才代）が多い
44	厚労省で推奨されているにもかかわらず、査定されるケースがあると聞いている。きちんと保険請求できるようにすべき。
45	厚労省の指針とおりの感染症検査実施は、包括医療のため結局病院負担となり、積極的に実施を徹底できない。